

大型珪藻コシノディスカスは確認されなくなりましたが、小型珪藻のキートセロス・スケレトネマ等、多種の珪藻類がやや多い状況です。窒素は、陸水の影響が見られる海域地先で $3 \sim 7 \mu\text{g at/L}$ 台、明石海峡部の海水の影響が見られる林崎新漁場以東で $2 \sim 5 \mu\text{g at/L}$ 台、二見漁場以西の沖筋では $1 \mu\text{g at/L}$ 前後の値となっています。

(水温) 漁場内平均 11.9°C (平年並、昨年比 0.5°C 高い)。(塩分) 平均 32.54psu 。前回 (32.43) より 0.11psu 高い。

(珪藻、栄養塩ほか)

海域全般にキートセロス・スケレトネマ等、多種の珪藻類がやや多くなっており、大型珪藻のユーカンピアもわずかに確認された。

海域地先(二見漁場～別府漁場)では、陸水の影響が強く見られ、アンモニア態窒素の値が高くなっていた。

	前回値	今回値	平年値	昨年値
水温	14.6	11.9	11.9	11.4
窒素	5.4	3.0	4.3	3.6
リン	0.54	0.43	0.50	0.53

(12/25) ※窒素の平均

は⑥を除く

(1/6)

西播地先

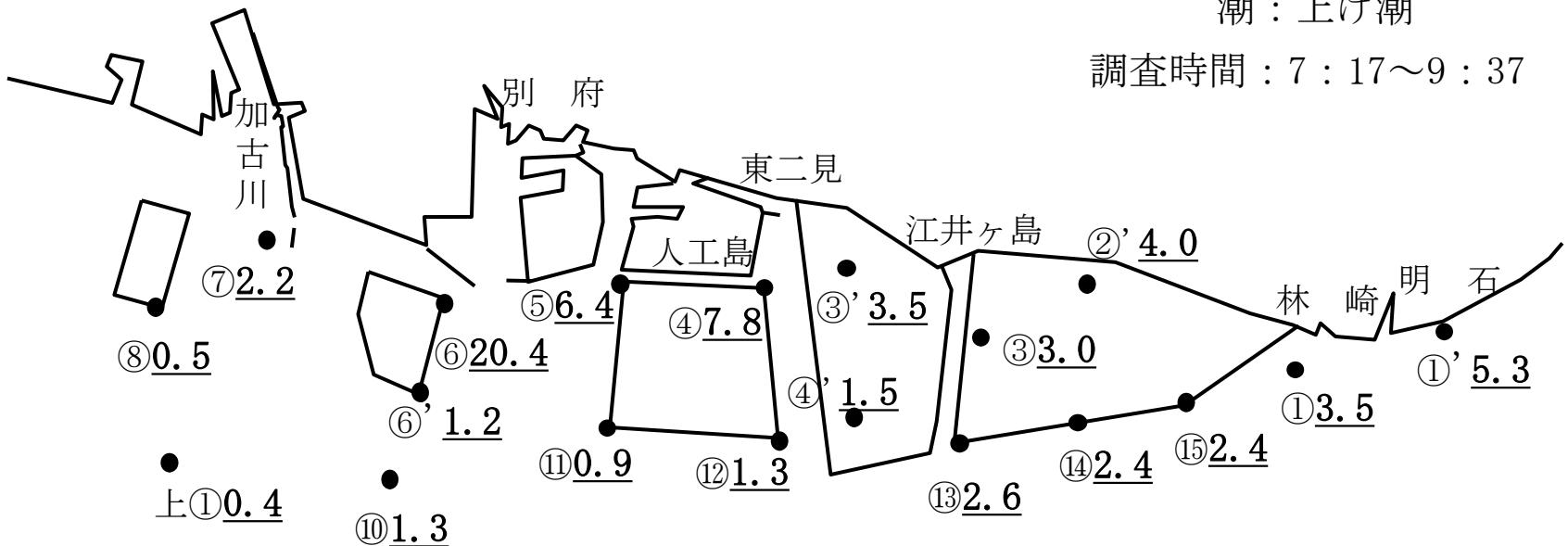
伊保 地	水温	11.7°C	伊保 沖	水温	12.2°C
	窒素	1.1		窒素	1.0
	リン	0.38		リン	0.45
白浜 地	水温	11.8°C	白浜 沖	水温	11.9°C
	窒素	0.5		窒素	0.9
	リン	0.36		リン	0.41

2026年1月7日調査

栄養塩(窒素)図

潮：上げ潮

調査時間：7:17～9:37



水温図

